



# 展示の工夫やオリジナルグッズでPR イベント続々開催

## 尾道市公衛協

### 地区別パネル発表&投票でPR

平成28年11月13日、尾道市総合福祉センターで「第34回のおのみち市民健康まつり」が開催され、1千500人が参加しました。

来場者は、10のコーナーを巡るスタンプラリーシートを受け取り、さまざまな主体が出版する健康づくりや日々の生活の注意点などを学びました。カロリーや減塩などの生活習慣病予防の啓発、乳がんや大腸がん検診などの受診勧奨、パネルを使った地区公衛協の活動紹介などがみられました。

活動紹介コーナーでは、各地区の活動内容を2枚のパネルで紹介しました。活動がよく分かるパネルに投票する仕組みで、多くの方に投票してもらった。投票方法は工夫されており、782人が投票しました。このパネルは、9月に実施した専門研修「広報・ツールづくりコース」でレイアウトを考えたもので、色使いや吹き出し、レイアウトに工夫がみられました。

## 安芸高田市公衛協

### オリジナル風呂敷で脱温暖化を啓発

平成28年11月6日、安芸高田市八千代支所駐車場で「かんきょうまつりinあきたかた2016」が開催され、2千人が参加しました。

公衛協は、地球温暖化防止を呼びかけるエネルギー体験コーナーと、風呂敷包みコーナーを出展しました。

風呂敷包みコーナーでは、オリジナルデザインの大幅風呂敷を使って、来場者に「ドロップバッグ」の結び方を手取り足取り伝授しました。来場者からは「意外と簡単」「たくさん包めていいね」などの声か

外と簡単「たくさん包めていいね」などの声か呼びかけました。

## 江田島市公衛協

### 入選作品の活用で環境保全を啓発

平成28年11月20日、国立江田島青少年交流の家(江田島町津久茂)で「フェスティバル江田島」が開催され、1万5千人が参加しました。

公衛協からは19人が参加し、推進委員が交代で会場内のごみス

テーションでの分別指導、環境啓発ポスター、標語コンクール入選作品紹介や脱温暖化パネル展示、LED・蛍光灯・白熱電球の比較実

験などを行いました。また、「がん検診へ行こうよ」キャンペーン事業を活用した、がん検診の受診勧奨や「家庭の省エネアンケート」を実施し、それぞれ200人以上に呼びかけました。

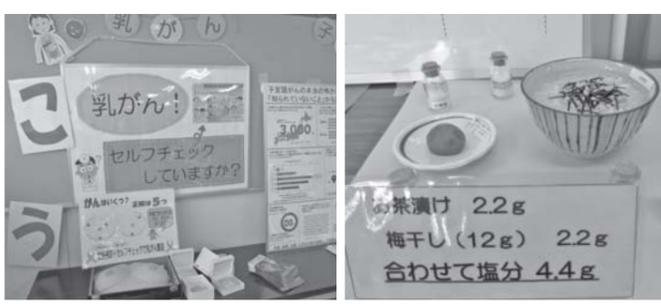
アンケートの回答者に、受診勧奨のチラシや環境啓発ポスター、標語コンクール入選作品が貼られた粗品を渡し、健康づくりや温暖化防止の取り組みの必要性を訴えました。(地域活動支援センター)



風呂敷包み「ドロップバッグ」に挑戦する親子(上)、自転車発電で扇風機を動かす来場者(下)



アンケート回答者にポスター・標語コンクールの作品を貼った粗品を配布して啓発を強化(上)、入選作品を見る来場者(下)



風呂敷包み「ドロップバッグ」に挑戦する親子(上)、自転車発電で扇風機を動かす来場者(下)

## COOL CHOICE

### 私のクールチョイス

#### ③ 広島県編(その1)

このコーナーでは、【買い替え】、【サービス】、【ライフスタイル】の3つの視点で、さまざまなクールチョイスの事例を紹介し

- 【買い替え】省エネで高効率な家電、設備、建築物の低炭素製品への買い替えなど
- 【サービス】公共交通の利用やエコレールマークの付いた商品、グリーン電力の選択やスマートメーターによる「見える化」につながる低炭素サービスの選択など
- 【ライフスタイル】家庭でのエネルギー消費量・二酸化炭素排出量を減らす取り組みやエコドライブなど

#### 【買い替え】(オール電化・高効率照明)

平成20年、県民運動「広島発・ストップ地球温暖化」のキャッチコピー「今すぐecoじゃけん広島/暑い気持ちで、地球をクールダウン」と国民運動「チーム・マイナス6%」とのコラボレーションをきっかけに、取り組みをはじめました。まず灯油ボイラーの風呂やプロパンガスのレンジを



オール電化に切り替えました。現在は照明器具のLED化を進めています。その他、すすぎが1回で済む洗剤を利用した節水、使わない電気をこまめに消すことなどを心がけています。

(環境県民局 環境部長 梅村幸平氏)

#### 【買い替え】(オール電化・太陽光発電)

愛車はハイブリッドです。家の新築に際しては、遮熱性能の高いペアガラス、遮光カーテンを導入し、冬でも室温が10度を下回ることがなくなりました。10年ほど前、太陽光発電の設置に際してオール電化に切り替えました。太陽光パネルが夏場の直射日光をさえぎってくれるため、最上階の室温が5度近く下がったと感じるほど、期待以上の効果を感じています。IHクッキングヒーターは油煙の発生が少ないため、換気扇の清掃が減りました。



(環境政策課長 松井浩章氏)

#### 【ライフスタイル】(エコクッキング)

料理が趣味なので、土日はエコクッキングで腕を振ります。短時間で手際よく、水や食材、エネルギーを無駄なく使いたいの、段取りには気を使います。野菜くずを減らすための切り方の工夫やこまめな火力調整、調理時間短縮のため下茹でに電子レンジを活用します。洗いを減らすためフライパン1つで調理、1プレートに盛り付けます。食べ終わった食器を重ねると汚れが表裏に付着するので分けて洗います。我が家では中華料理や、冬になると鍋料理など、鍋一つで調理できる料理が多くなります。



(環境保全課長 重野昭彦氏)

各地区の公衛協が活動状況をパネルで紹介(右)、がん検診や生活習慣病予防を促す展示(下)